

街暮らしの新たな魅力を見つけるために

街なかで自分らしく暮らす人にお話を伺いました。



熊谷 信隆さん

願正寺 住職

Profile

大阪生まれの大坂育ち。大阪時代は、中央区本町にある「本願寺津村別院」通称「北御堂」に17年間奉職。その後平成10年に、妻の実家であるお寺「願正寺」の跡を継ぎ、骨を埋める覚悟で来た。平成14年、第14代住職に就任し、現在にいたる。また平成18年から平成21年の間には、佐賀工商会議所のまちづくり部門である「TMO 佐賀」の活動にも参加するだけでなく、音楽イベント「てらおん」のために本堂を開放し、「まちと音楽の魅力」を発信する取り組みのために、大きなサポート役を担い続けている。

佐賀に来て、多くの方々と出会うご縁に恵まれました。

佐賀はとても住みやすいところです。食べ物はおいしい、空気はきれい、騒音も少ない。穏やかな時間の流れを感じられ、大阪時代よりもストレスが減りました。街の中でそういった「自然」を感じられるのは、とてもすごいことだと思います。そしてこのような多くの出会いの中で、一際大きな出会いがありました。それが「てらおん」です。そもそもお寺は、多くの方が集まる場所であり、情報の発信場所。そんな本来の「お寺と街と人」について考えていた時に、「まちから始まる音楽フェス」(まちおん)が企画されました(2004年)。「少しでもまちを元気に、人の集まる場所」との想いに共感し、お寺の本堂を開放することに。その後その「まちおん」より新しい催しが企画され、年に一度だけではなく、定期的なイベントでまちと音楽の魅力をより多く発信したいという方々の熱意を受けました。そしてこれもまたお寺を使ってもらいう「良いご縁」と考え、毎月の「てらおん」が開催されることとなりました。

毎月第4土曜日の午後5時に、お寺の鐘の音で「てらおん」は始まります。平成18年9月23日から始まり、平成28年7月23日で99回目。8月にはなんと100回目を迎える予定です。また時には、主催者の一人「ななこさん」のおかげでテレビやラジオ深夜便にも出演させていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。どちらも緊張の連続でしたが、遠方の方(青森や大阪)から、「懐かしい声を聞いた」とご連絡をいただき嬉しくホッとした。また当初は「まちおん」も「てらおん」も、場所の提供だけだったのですが、間にお話をしてもらいたいという要望があり、講話をさせていただくことに。

INFORMATION

願正寺 当寺は初代藩主勝茂公の命により1600(慶長5)年に創建。現本堂は1702(元禄15)年に建立され、現在もその姿を残しています。また境内の鐘楼堂は1696(元禄9)年建立。佐賀城下への時鐘として用いられ、現在も毎日午後5時に鐘の音を響かせています。(佐賀市呉服元町6-5)

第99回 ●日時/7月23日(土)16:30開場、17:00開演●会場/願正寺●入場料/500円
てらおん ●HP/<http://tereon.sagafan.jp>●問い合わせ先/てらおんスタッフ ☎090-8511-4275



▲熊谷信隆住職とてらおんスタッフのみなさん
(スタッフの一人、おきつななこさんは産休中)

れもまたご縁ですね。ただ、聞きに来られる方々は音楽を楽しみに来られているので、なるべく親しみやすい話題にしつつも、仏教の教えも伝えたいという想いで話をさせていただいている。

これからも街と、多くの方とのご縁を大切にし、お寺をどなたでもが自由に入れる楽しい場所や、樂になる場所にしていきたいです。仏事やお墓のことだけではなく、生きていいくまでのいろいろな悩みや迷い、そして様々なストレスが渦巻く現代社会の中でどのように心豊かに生きてゆくかを、一緒に考え学んでゆける活動をお寺で行っていけたらと思っています。



てらおんをつないでいる スタッフよりメッセージ



おきつななこさん

今から約10年前、と書いてみで驚きましたが…「てらおん」第一回を開催する前、熊谷住職とお話する機会がありました。かつて寺は最新の情報源であり、人々が集う場所であったこと。そしてもうひとつ、まずは続けることを第一に始めましょう、と仰っていただきました。その言葉にすっかり甘えて、ぽちぽちベースで歩き続けた「てらおん」。龜の歩みも、素晴らしい出演者に恵まれ、お客様と願正寺様の優しい眼差しに見守られて、おかげ様で間もなくの節目を迎えます。緑を育み、四季を肌で感じ、心地よく音響く…私をはじめスタッフにとって演奏する場を超えた特別な空間です。これからも街に呼吸するようになるイベントでありますように。ありがとうございます。



街なかかわらばん INFO ごあんない

ご意見・ご感想、お問い合わせはコチラへ

街なかかわらばん 編集室

TEL 0952-22-7340
FAX 0952-22-7346
MAIL kawaraban@humanite-saga.com

個人的には音楽にそれほど詳しいわけではないですが、そんな自分でさえ街に「音」が息いているのを感じます。ジャンルは様々ですが、街の活力源の一つであるのは間違いないですね。(編集長 庄野雄輔)



あなたの、かかりつけ薬局。

地域とともにくすり屋100年
ミズ・溝上薬局

<http://www.miz-pharmacy.co.jp/> ミズ 検索

人とまちをつなぐ新聞

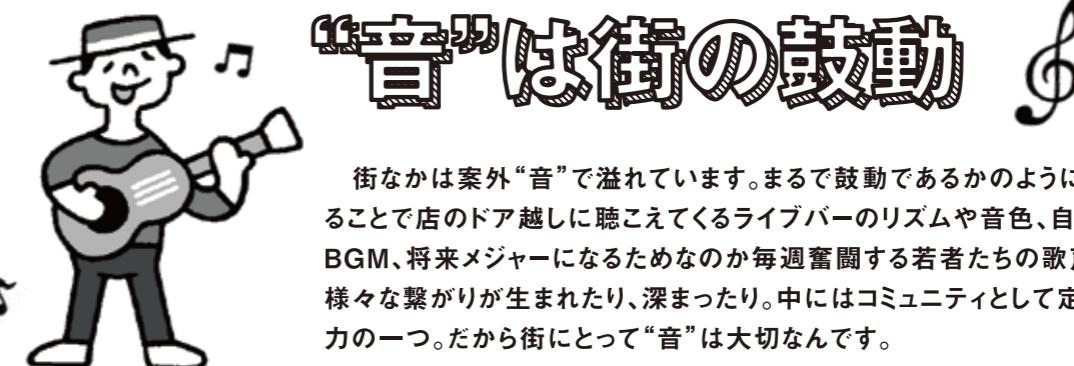
街なかかわらばん

TAKE FREE
さが

2016.7.15号
no.20
Machinaka Kawaraban

街なかのおすすめ賃貸情報更新中!

www.kawaraban-web.com



街なかは案外「音」で溢れています。まるで鼓動であるかのように。例えば毎年開催される音楽イベント、そっと耳を傾けることで店のドア越しに聴こえてくるライブバーのリズムや音色、自然と音楽好きが集まる酒場での笑い声、店内に流れるBGM、将来メジャーになるためなのか毎週奮闘する若者たちの歌声など…いろいろ。日々街のどこかで「音」をきっかけに、様々な繋がりが生まれたり、深まったり。中にはコミュニティとして定着しているものだってあります。繋がりは街の大きな魅力の一つ。だから街にとって「音」は大切なんです。

01 HOMEに“女子部”あり チャリティーライブ HOME

記者
移住プロム北海道6年目
北村朱里

2008年に始まった、佐賀のミュージシャンが一堂に会するチャリティーライブ「HOME」。今年で9回目を迎えるこのイベント、佐賀の夏の風物詩のひとつとしてすっかり定着しました。昨年までと同じく「世界の子どもにワクチンを」「東日本大震災義援」、そして「熊本地震」の募金箱を会場に設置し全額を寄付します。HOMEのテーマは「誰もが笑顔になれる場所」。ミュージシャン、運営委員、お客様さんはもちろんのこと、その笑顔の源泉となる存在に「HOME女子部」があるのをご存知ですか? HOME女子部とは、募金活動や物販などを担当するほか、SNSでの告知、会場準備などいろいろなお手伝いをするボランティアチーム。今回は、HOME第一回目からその一員として携わっている江里口里紗さんと実行委員長の丸山哲矢さんにお話を聞きました。



▲HOME女子の面々。会場準備から物品販売など、陰でイベントを支えています。



▲HOMEはチャリティーエベントなんです。



▲常に出演者・スタッフは一つになっています。

まず自分たちが一番楽しんでいます!

「第一回目の時は私を含めた3人で手伝っていて、2回目くらいから7人に。それが現在もコアメンバーとして活動しています。なぜ“女子部”かって? うーん、いつの間にか誰かが言いだして(笑)と江里口さん。彼女たちはどんな存在? と丸山さんに聞くと「とにかく力強いです。みんな自ら進んで積極的に動いてくれる人たちなので、安心して任せられるんですよ。それに、会場に彼女たちがいると華やか」。女子部として活動して楽しいことは? 「毎年来てくれるお客様が名前を覚えてくれていたり、『今年も会えたね!』と声をかけられたり。すごく嬉しいですよ。」と目を輝かせて話す江里口さん。「HOMEは、お客様もミュージシャンもスタッフも本当にみんなが笑顔。でも誰よりも楽しんで一番たくさん笑っているのは女子部かも。私たち自身、このイベントに関わる人たちとその空気感が何より好きなんです!」。



▲発起人の一人、千綿偉功さん。今年も参加です。

▲出演者、スタッフ、観客が混じり合い、会場の熱が上がります。

HOMEが誰かの“起点”になれたなら

初回から毎回欠かさず参加している江里口さんに、これからもずっと続けたいですか? と聞くと、大きくなずいて「HOMEが続く限り!」と。「あ、でも一度はお客様として参加してみたいかな(笑)と言えば、丸山さんがすかさず「それは許さない(笑)」。皆のアネゴ的存在だという江里口さんをはじめとした女子部、HOMEになくてはならない存在です! 「やっぱりいろいろなミュージシャンを少しずつ楽しめるのがHOMEの魅力。お祭りのついででも、1曲だけとかでも気軽に観に来ほしいですね。そしてHOMEに来たことが、音楽を聞き始める、楽器を始める。街なかに来てみる、好きなことにチャレンジする…そんな、誰かの“起点”になれたなら嬉しいです」。音楽を楽しむのはもちろん、ポジティブなパワー溢れる“女子部”的笑顔を見に、当日は656広場に足を運んでみませんか?

EVENT INFORMATION

チャリティーライブ 2016 HOME vol.9

●日時/8月6日(土)12:00~20:00(予定)●会場/656広場(佐賀市呉服元町2-25)●入場料/無料●HP/<http://home-saga.jp>●主催/『HOME』実行委員会(まる屋内)●問い合わせ先/0952-26-8866(まる屋)またはinfo@home-saga.jp

【出演者情報】

千綿偉功、田中拡邦(MAMALAI RAG)、ケイタク、北村尚志with深町宏、カノエラ、野副一喜 with Leather Jackets, MyKeys、江口宣弘、溝上純一、松谷さやか、徳久義、武下詩菜、松本杏彩

